



# 車が必要なまちから公共交通が便利なまちへ 次世代型路面電車LRTの導入へ



人を中心としたまち  
誰もが移動しやすいまちへ

上原やすお市議は、11月議会一般質問で、那覇市の次世代型路面電車LRT導入について質問しました。

幸地貴都市みらい部長は、LRT導入に向けて、那覇市LRT整備計画素案を基に関係機関と協議をおこなっており、今後、市民意見を踏まえ、那覇市都市交通協議会での了承が得られたら、LRT整備計画を策定し、2040年度の開業をめざして取り組んでいると答えました。

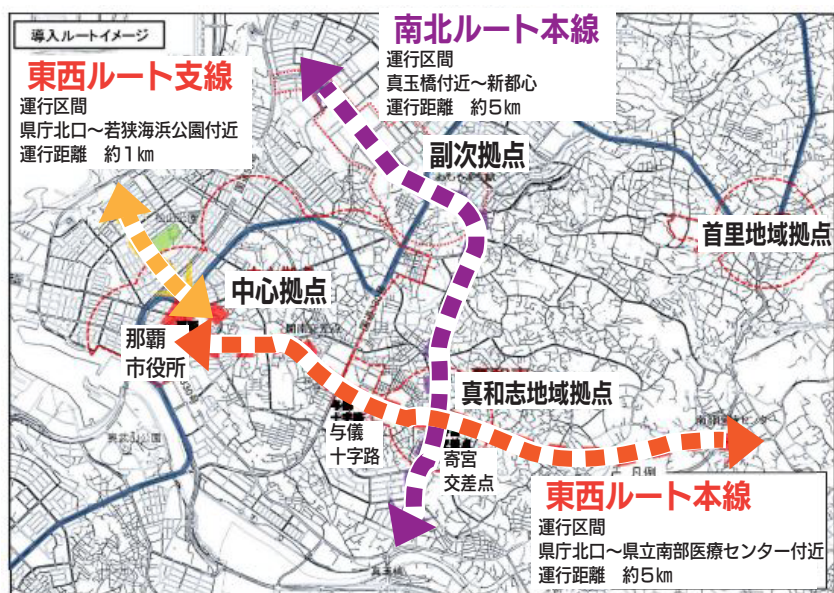
車が必要なまちから、公共交通に対応したまちへ、那覇市では公共交通をさらに便利にすることで、「人を中心としたまち」「誰もが移動しやすいまち」をつくる必要があると考えています。LRTは、中心市街地・真和志・新都心の3つの拠点を結び、バス・タクシー・モノレールと連携することで、人々の移動をスムーズにし、環境や人にやさしく、住みよいまちづくりへの効果が期待できます。

## LRT導入ルートと運行計画

LRTの導入ルートは、東西ルート本線および支線、南北ルートを計画しており、周辺地域の状況に合わせて、停留所を約500m間隔で設置する予定です。

車両基地は松山公園の地下に整備する予定、真和志地域のまちづくりの早期進展等の観点から、東西ルート本線および支線を先行整備する予定です。

東西ルート本線は県庁北口から県立南部医療センターまでの約5キロを結ぶ、所要時間約19分の運行計画となっています。



## LRT導入Q&A (なぜ真和志地域にLRTを導入するの?)

モノレールが、本市を南北(小緑・中心市街地・首里)に結ぶ基幹的公共交通の軸を担っている一方で、東西方向においては、中心市街地と真和志地域を結ぶ新たな基幹的公共交通の軸が必要と考えています。そのため、東西方向の公共交通軸の形成、まちづくりの早期進展などの観点から真和志地域にLRT導入を位置付けています。

真和志地域は戦後、道路などの基盤が整わないまま市街化が進み、起伏にとんだ地形もあり、公共交通の不便な地域もあります。

定時性・速達性に優れるLRTを導入し、あわせて路線バスネットワークの再編など公共交通不便地域の解消を図り、誰もが移動しやすいまちの実現に向けて取り組んでまいります。